

平成31(令和元)年度 学校評価報告書 (目標設定)・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価(3月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の特性や地域の実情を踏まえながら、単位制の利点を生かしたカリキュラム・マネジメントに取り組む。</p> <p>②生徒の学習意欲の向上を図るとともに、基礎学力の定着と思考・判断・表現力を養うため授業改善の一層の推進を図る。</p>	<p>①単位制普通科の本校が目指す姿を全職員で共有し、進路希望や最近の進路動向を踏まえ、教科・科目を編成し、教育活動を実践する。</p> <p>②授業力向上推進重点校として新たなテーマ設定を行い、主体的・対話的で深い学びの実現につながる授業改善を一層進める。</p>	<p>①本校の生徒の特性を固定化することなく、教科・科目編成では柔軟に対応し、個性を最大限に伸ばす授業展開を図る。また、進路を見据えた履修指導を充実させる。</p> <p>②教員相互の授業見学を行う。また、すべての教員が主体的・対話的で深い学びにつながる授業の仮説を立て、検証授業を行う。</p>	<p>①生徒アンケートでの授業選択に関する生徒の満足度は75%以上か。カリキュラム、キャリア支援両グループの連携は進んだか。</p> <p>②生徒アンケートでの主体的・対話的で深い学びの実践について、75%以上が授業展開に肯定的な回答をしたか。</p>					
2 生徒指導・ 支援	<p>①部活動の一層の活性化を図るとともに、部活動を通じたリーダーシップ教育を推進する。</p> <p>②教育相談体制をさらに充実させ、組織的な生徒支援を行う。</p>	<p>①部活動加入率を向上させ、年間を通じた加入率の維持を目指す。また、部活動をリーダーシップ教育実践の場とし、競技等の実績向上につながるようにする。</p> <p>②教育相談体制のガイドラインを見直し、職員間の情報共有の徹底を図り、個々の生徒に応じた支援を丁寧に行っていく。</p>	<p>①加入率アップを目指し、1年次生には4月中の入部を促す。また、退部した生徒や未加入生徒には生徒会支援グループと年次団とが連携し、再加入を働きかける。</p> <p>②担任などからの情報を生活支援グループが集約し、職員間での共有を図る。カウンセリング結果の共有をガイドラインの見直しやルールづくりの上で進める。教育相談アンケートを実施して、生徒の状況把握やいじめ防止に努める。</p>	<p>①部活動加入率が1年次90%以上、全校で年間を通じて85%以上になったか。部活動の多くの場面でリーダーシップが発揮されているか。</p> <p>②集約した情報の職員への提供や職員間の共有が図れたか。カウンセリング共有に向けたガイドライン見直しとルールづくりは進んだか。教育相談アンケートが生徒把握やいじめ防止につながったか。</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価(3月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<p>①生徒の課題発見力・課題解決力を高め、キャリア育成を図る。</p> <p>②個々の生徒の進路希望実現のためきめ細やかな支援を組織的に行う。</p> <p>③これからの社会を担い、積極的に社会参加する生徒の能力と態度を育成する。</p>	<p>①課題発見力・課題解決力向上に向け、リーダーシップ教育を一層推進する。</p> <p>②調査書改定を踏まえポートフォリオ活用による進路実現を積極的に支援する。</p> <p>③総合的な探究の時間等で探求活動を展開し、将来を見据えて自己実現を目指す態度を育成する。</p>	<p>①リーダーシップ2科目の充実を図る。全授業、部活動、行事でのリーダーシップの発揮を支援する。</p> <p>②1、2年次生を中心に、日々の様々な場面でポートフォリオ構築が進むよう、積極的に支援する。</p> <p>③生徒が自身の在り方・生き方について考え、より探究的な学びが実施できるよう、テーマ設定などをきめ細かく支援する。</p>	<p>①生徒の85%以上が学んだ内容を様々な場面で積極的に発揮しようと努めたか。</p> <p>②1、2年次生の80%以上が構築したポートフォリオの活用を行っているか。</p> <p>③総合的な探究の時間等を通じ、自身の在り方・生き方についての考えを深める機会は十分確保できたか。</p>					
4	地域等との協働	<p>①地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>②ボランティア活動等を通して、地域と連携した教育活動を推進する。</p>	<p>①学校運営協議会制度を活用し、地域との連携を一層進める。</p> <p>②ボランティア活動を支援する体制を整備し、活動の充実を図る。</p>	<p>①学校運営協議会を当初の計画通り実施する。また運営を工夫し、部会の活用を図ることで、地域との連携や協働を深める。</p> <p>②旧モーガン邸保全活動、土囊づくり、地域清掃の3本柱で計画を立て、10月の実施に向け準備する。「アジサイまつり」「藤沢宿まつり」等の地域イベントへも広く生徒が参加できる体制を確立させる。</p>	<p>①学校運営協議会では地域との連携や協働のための協議が活発に行われたか。</p> <p>②生徒によるボランティア活動への参加が前年度より延べ人数で5%以上増えたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境の整備に努め、安全安心で、明るい学校づくりを推進する。</p> <p>②事故・不祥事防止を徹底し、職員が前向きに取り組める、風通しの良い職場づくりを推進する。</p>	<p>①安全に暮らせて挨拶の声が飛び交う学校づくりに進める。生徒数の増加に対応できるよう、教育環境の整備を図る。</p> <p>②グループ間の連携で事故・不祥事を防止する。生徒増に伴い、定期テスト等の事故防止に努める。</p>	<p>①生徒会を中心とした「あいさつ運動」の定着と拡大を図る。校内の教育環境が生徒増に対応できているかを、特に安全面や施設設備面から点検する。</p> <p>②各グループが関連する業務を内容とした事故防止会議を開催する。試験作成、点検、保管のルール遵守を徹底する。</p>	<p>①挨拶の声が飛び交う明るい雰囲気のある学校との評価が校外から寄せられたか。生徒増が理由で教育環境が著しく悪化することはなかったか。</p> <p>②グループが連携しての事故防止会議は成果を出せたか。定期テストの際の事故をゼロにできたか。</p>					